

螺旋階段を登る社会

弁証法で知られる哲学者のヘーゲルが、
「事物の螺旋的發展」という洞察を述べています。

物事の進歩・発展は、
あたかも「螺旋階段」を登るかの様相を示し、
横から見れば、上に昇っていくが、
上から見れば、元に戻ってくるように見える。

その洞察です。

たしかに、いま、
ネット革命やIT革命によって
急速に「未来進化」していく社会を見ていると、
一方で「原点回帰」の現象が目につきます。

例えば、最先端のeコマースにおいては、
「オークション」（競り）や
「ギャザリング」（共同購入）といった
古い時代のビジネスモデルが、復活しています。

また、ネット・コミュニティでは、
かつての地域共同体にあった
ボランティア経済やリサイクル経済が、復活しています。

そして、デジタル・デモクラシーは、
直接民主主義的な方法を、復活させつつあります。

たしかに、いま、世の中には、
「懐かしさ」を感じさせるものが、
数多く生まれてきています。

それは、単なる偶然でしょうか。

そのことを考えるとき、
我々の耳には、
遠く、ヘーゲルの声が聴こえてきます。

この社会は、いま、進化の螺旋階段を、
一段高い次元へと、登っていこうとしている。

その声が聴こえてくるのです。